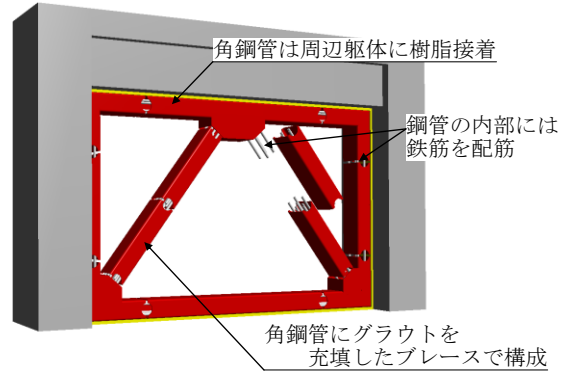


<p>【技術の名称】 3Q-Brace 工法 一分割鋼管で拘束した鉄筋内蔵モルタル充填の 枠付きブレース耐震補強工法 (改定 2)</p>	<p>性能証明番号 : GBRC 性能証明 第 09-09 号 改 2 性能証明発効日 : 2013 年 4 月 16 日 【取得者】 株式会社大林組</p>
---	---

【技術の概要】

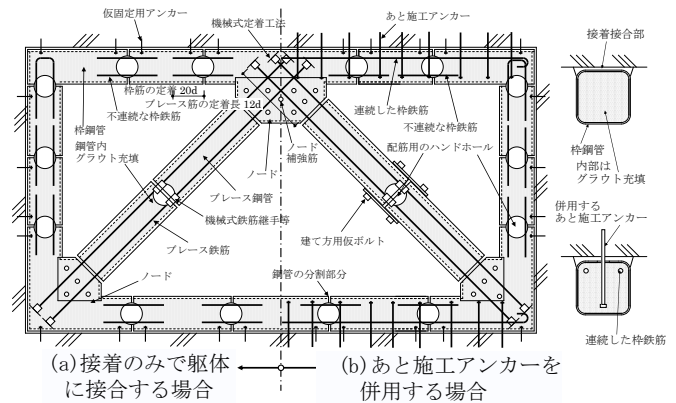
本技術は、材軸方向に分割した鋼管で拘束した鉄筋内蔵モルタル充填の枠付きブレースを用いた耐震補強工法である。すなわち、材軸方向に分割した鋼管の内部に鉄筋を配筋し、無収縮高強度モルタルを充填することによって、枠材とブレース材を一体化した後、既存骨組柱、梁の内側各辺と枠材鋼管側面をエポキシ樹脂によって接着接合するか、またはそれに加えてあと施工アンカーを打設して両者を接合することになっている。また、引張・圧縮の両ブレース材の交点部およびブレース材と枠材の交点部をノードと称し、同部の鋼管の両側面を貫通させてノード補強筋を用いて結合することによって、引張・圧縮の両ブレース材が設計で期待した耐力を発揮するようにしている。



工法概要

【改定の内容】

- 新規 : GBRC 性能証明 第 09-09 号 (2009 年 7 月 7 日)
 改定 1 : GBRC 性能証明第 09-09 号改 (2011 年 11 月 22 日)
- ・ブレース鉄筋の鋼種追加
 - ・あと施工アンカーを併用して枠材を接着固定する場合の鉄筋量の規定の変更
 - ・無収縮モルタルの標準調合の変更
- 改定 2 : GBRC 性能証明 第 09-09 号 改 2 (今回)
- ・片ブレース型 (Z 型) の追加
 - ・脚部枠の一部を切断した K 型ブレースの追加
 - ・水平接合部にあと施工アンカーを用いた場合の強度寄与係数の追加
 - ・SRC 造へ適用した場合の F 値の設定追加



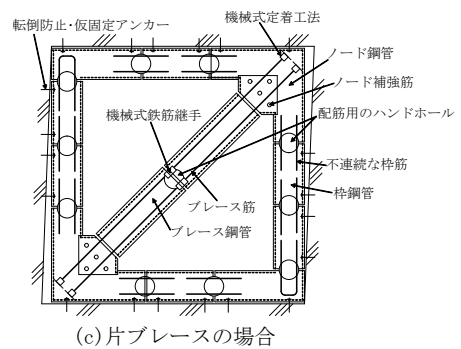
(a) 接着のみで躯体に接合する場合 (b) あと施工アンカーを併用する場合

【技術開発の趣旨】

本工法は、従来の鉄骨ブレースに比べて高い圧縮耐力が期待できる鉄筋内蔵モルタル充填の枠付きブレースを実現すること、ならびに耐震補強工事の際に問題となるあと施工アンカーの打設に伴う騒音、振動などの発生を解消するまたは軽減することを意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する 3Q-Brace 工法 設計施工要領書に従い、設計施工された枠付きブレース耐震架構は、同要領書で提示している終局耐力および変形性能 (耐震診断において用いる靱性指標 F 値) を有する。



(c) 片ブレースの場合
 取り付け方法および配筋

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組技術研究所 担当者 : 栗田康平
 〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail : kurita.kohei@obayashi.co.jp
 TEL : 042-495-1013 FAX : 042-495-0904